

## ホンダ・レーシング・スクール・鈴鹿 (HRS鈴鹿) 2024年度入校式及び第1回カリキュラムのご報告

拝啓 陽春の候、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は、当社の事業に格別のご支援をいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、「ホンダ・レーシング・スクール・鈴鹿 (HRS鈴鹿)」では3月23日(土)にMoto/Kart/Formulaの3クラス合同による2024年度入校式を開催、その後は基本的な検査や座学、オリエンテーションなどを行い、翌日からは早くもMoto/Kart各クラスの第1回目カリキュラムも行いました。この記念すべき式典・事業を滞りなく終了させることができましたことをご協賛各社様に深く感謝申し上げますとともに、ここにご報告させていただきます。

近年、F1の角田裕毅選手、Moto3の古里太陽選手をはじめ、多くのスクール卒業生たちが国内外から注目を集めています。彼らに続くドライバーやライダーの育成を目標に、HRS鈴鹿は2024年度も活動を続けてまいります。何卒、ご理解・ご協力のほど、宜しくお願い致します。

敬具

2024年3月25日

ホンダ・レーシング・スクール・鈴鹿事務局

### ●2024 ホンダ・レーシング・スクール・鈴鹿 (HRS鈴鹿) / 入校式～第1回カリキュラム開催概要 【合同入校式】

■日時: 3月23日(土)

■会場: 鈴鹿サーキット・交通教育センター

■参加: Moto Class 岡田忠之Principal、田村圭二Director、その他Instructor  
Kart Class 中野信治Executive Director、服部弘光Director、その他Instructor  
Formula Class 中野信治Executive Director、佐藤浩二Director、鎌田貴Physical Coach

### 【第1回目カリキュラム】

■日時: 3月23日(土)・24日(日)・25日(月)

■会場: Moto Classベーシックコース 交通教育センター(適性検査、講習)、南コース(走行訓練)  
Moto Classアドバンスコース フルコース(走行訓練)  
Kart Classベーシックコース/アドバンスコース レーシングスクールセンター(シート調整)、南コース(走行訓練)  
Formula Classアドバンスコース 適性検査、ロガー講習、シート作成、シートベルト・ペダル調整



緊張感とこの1年に掛ける意気込みに満ちた会場にて、3クラス合同による入校式を開催

 TAICHI

 Arai

 EARPEACE

 EIKO  
Glory of Karting

 EXGEL®  
Motorsport

 NGK  
SPARK PLUGS

 ENDLESS  
Challenge to the Future

 ODYSSEY  
ULTIMATE BATTERIES

 FRONT LIGHT  
TECHNOLOGY

 Sabelt

 CCI  
CO-CORPORATION

 ThreeBond

 DUNLOP

 TODA  
RACING

 TONY/KART  
23 24 25 26 27 28 29

 TORAY  
Toray Carbon Magic

 SUZUKA

 BRIDGESTONE

 PETRONAS

 hit-air  
HIT AIR SYSTEMS

 mooncraft

 rizoma

 WAKOS

## 世界に通用するライダーやドライバーを育成する環境を提供 常に進化・強化し続ける「HRS鈴鹿」に26名が入校

園内の桜が間もなく開花を迎えようとする3月23日(土)、2024年度HRS鈴鹿入校式を鈴鹿サーキット・交通教育センターにて行いました。

Moto/Kart/Formula 各クラスの合同によって開催したこの入校式には、Moto Classベーシックコース9名、Kart Classベーシックコース6名(内1名欠席)、同アドバンスコース3名、2023年末より開催してきたFormula Classアドバンスコース選考会STEP1/STEP2を経て選抜したFormula Classアドバンスコース8名の入校生合計26名が参加。国内のトップライダー・トップドライバーが務める各クラスのInstructorの皆様や保護者の皆様にもご列席いただき、入校生たちの1年間に掛ける意気込みに満ちた会場で厳かに入校式を行いました。

まず、ホンダモビリティランド株式会社 鈴鹿サーキットモータースポーツ事業部レーシングスクールセンター所長 荒川基之、続いて株式会社ホンダ・レーシング 取締役 企画管理部 部長 長井昌也様より挨拶。その後、Moto Class岡田忠之Principal、Kart/Formula Class中野信治Executive Directorより入校生に向けて激励の言葉が贈られました。

その後、3クラスの各Instructorと入校生を紹介しました。名前を呼ばれた入校生は大きな声で返事し、自分の進むべき道筋を見据えた真剣なまなざしでInstructorに向かって一礼しました。

### ●Moto Class岡田忠之Principal

「ご入校おめでとうございます。昨年のアドバンスコース受講生である竹本倫太郎選手が今シーズンから皆さんの代表としてIdemitsu Asia Talent Cupに参戦しています。

1戦目を戦った彼から『力不足を感じました』と聞きました。彼もまだまだ学ぶことが多いと思います。一年間はアツという間に過ぎてしまいます。時間が大切です。1分1秒を大切にしてください。限られた時間の中で目標に向かってどれだけ努力できるかが重要です。どれだけレースのことに集中できるか。レースのためになにをしなければいけないのか。そのためには普段の生活をどのように送らなければいけないのか。そういったことを考える力を磨いてください。新入生はインストラクターの皆さんや継続生にどんどん質問してください。貪欲に努力してください。皆さんの一年間が有意義なものになることを願っています」

### ●Kart/Formula Class中野信治Executive Director

「学びというのは皆さんの熱量によって受け取る量がまるで変わってきます。F1に乗りたい。MotoGPに乗りたい。そういう気持ち強い人がこのスクールを利用してどんどん成長していきます。学びに来ている意識の人と、ただ練習に来ている人とは大きな差がつかます。学ぶとは自ら動くことです。自分から聞きに行く。聞いて理解したことを行動に移す。そういうことが大切です。モータースポーツは自分一人でするものではありません。多くの人に応援していただいて成り立つスポーツです。勝つためには速く走る。速く走るためには良い車に乗る必要がある。良い車に乗るためには良い人と人間関係を築く必要がある。いろいろなものを自分の味方にしていかなければならないのです。それを忘れないでください。自分になにが足りないかをこのスクールで知り、それをプラスに変えてください。このスクールで謙虚に、そして貪欲に学んでください。皆さんの変化と進化を見られることを楽しみにしています」



入校式で激励の言葉を贈るKart/Formula Class中野信治Executive Director、右はMoto Class岡田忠之Principal





Moto Classベーシックコース入校生9名



Formula Classアドバンスコース入校生8名





Kart Classベーシックコース入校生6名(内1名欠席)



Kart Classアドバンスコース入校生3名



## Moto Class / Kart Classは第1回目カリキュラムがスタート マシンとコースに慣れるべく、精力的に走りこむ

Moto Class及びKart Classは入校式翌日から、早速第1回目カリキュラムを行いました。

Moto Classベーシックコースでは入校式の翌日である3月24日(日)にまず新入生に向けてスクール車両であるHonda CBR250R及びNSF100の取り扱い方法の説明を行いました。その後、新入生、継続生ともに鈴鹿サーキット・南コースでの走行訓練に参加しました。

まずは新入生がどのぐらいのレベルで走ることができるかを確認。その後、基本トレーニングとしてブレーキングや切り替えしの練習を行い、さらにコーナーの手前でスピードを落とし、身体を使ってバイクを曲げる走行訓練を繰り返し行いました。

この練習の目的はセルフステアなど、バイクに備わる特性を掴み、それをライディングに活かすことです。今後のカリキュラムでも常にバイクの挙動に注意を配りながら操作することを心掛け、繰り返し練習を行うことでバイクの基本的な動きを身体に覚え込ませ、的確なマシンコントロール能力を身に付けていきます。

また、Moto Classアドバンスコースの継続受講生に向けては、入校式が行われているまさにその日に鈴鹿サーキット・フルコースにて第1回目カリキュラムを実施。遠藤翔類(えんどう かける)、戸高 綸太郎(とだかりんたろう)

の2名が各自で設定した課題を克服すべく、走行訓練を続けました。翌3月24日(日)にはPhysical Trainer植田 尚吾氏の指導のもと、フィジカルトレーニングも行っています。

Kart Classベーシックコース/アドバンスコースの第1回目カリキュラムもMoto Classベーシックコース同様、3月24日(日)よりスタートしました。まずはコースインする際の注意点など、基本的なルールを確認した後、走行訓練へ。スクール用レーシングカートのエンジンの慣熟作業を行いながら鈴鹿サーキット・南コースを周回することでマシンとコースに慣れていきました。

今年の受講生はレーシングカート経験者が多いため、25日(月)には早くもタイムトライアル、決勝ヒート形式のセット走行も実施。本番レースさながらの内容でカリキュラムを行いました。また、走行の間にはメンテナンスを繰り返し、安全を確認するとともにタイヤの空気圧を様々に変更するなど、マシンセッティングについても学びました。



入校式が行われたまさにその時間帯に行われた初回カリキュラム。各自課題を持って鈴鹿サーキット・フルコースを走り込む(Moto Classアドバンスコース)

 TAICHI

 Arai

 EARPEACE

 EIKO  
Glory of Karting

 EXGEL®  
MOTORSPORT

 NGK  
SPARK PLUGS

 ENDLESS  
Challenge to the Future

 ODYSSEY  
LITHIUM BATTERIES

 RACING DEPT.  
RACING

 Sabelt

 CCI  
CO-CORPORATION

 ThreeBond

 DUNLOP

 TODA  
RACING

 TONY/KARI  
23 24 25 26 27 28 29

 TORAY  
Toray Carbon Magic

 Arai

 BRIDGESTONE

 PETRONAS

 hit-air  
RACING

 mooncraft

 rizoma

 WAKOS

## Formula Classでは、教育環境の充実を一層図るため スクール用フォーミュラカーをさらに実戦的なマシンへと刷新

Formula Classアドバンスコース受講生は3月23日(土)の入校式終了後にデータロガーの活用方法を学ぶ講習会に参加しました。

レースでは走行中に蓄積される各種データを分析し、ドライビングやマシンセッティングに活用する能力が不可欠です。その技術を身に付けられるよう、各コーナーにおけるギアポジション、スロットル開度、エンジン回転数、ブレーキペダル踏力、ステアリング舵角など、各種データの解析の仕方を学びました。また、速いドライバーと自分の走行パラメータを比較しながらドライビングへとフィードバックする方法についても学びました。

翌24日(日)と25日(月)の2日間は鈴鹿サーキット・レーシングスクールセンターにて各自の体形に合ったポジショニングとシート作成を実施。ステアリングやペダル類を的確に操作できるようにシートの前後位置や高さ、角度、シートベルト・ペダルの調整も行いながらシートも作成していきます。さらに急速に充実してきた四輪レース用頸部保護装具など安全装具の装着確認も行いました。

なお、Formula Classアドバンスコースでは2024年度よりスクール用新型フォーミュラカー「HRS-F24」を導入しました。

この「HRS-F24」はドライバー頭部保護装置を装備するなど、FIA基準の衝突安全性能を実現。また、受講生のステップアップを視野に入れたマシン性能、ドライビングスキル評価のさらなる精度向上を追求し、より高い教育効果を目指して開発を進めました。

その「HRS-F24」のセッティングをより高度な段階まで詰められるようにするため、データ解析用ソフトウェアを最新のAim製「Race Studio 3」に刷新しました。このようにHRS鈴鹿は世界を目指す受講生の成長をさらにサポートするため、教育環境の充実を企図し、その内容を一層進化・強化してまいります。



レーシングドライバーに必要とされるデータロガーの活用方法について学ぶ講習会も実施 (Formula Classアドバンスコース)

 TAICHI

 Arai

 EARPEACE

 EIKO  
Glory of Karting

 EXGEL®  
MOTORSPORT

 NGK  
SPARK PLUGS

 ENDLESS  
Challenge to the Future

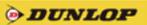
 ODYSSEY  
ULTIMATE BATTERIES

 RACING DATA  
ANALYTICS

 Sabelt

 CCI  
CO-CORPORATION

 ThreeBond

 DUNLOP

 TODA  
RACING

 TONY/KARI  
23 24 25 26 27 28 29

 TORAY  
Toray Carbon Magic

 重夢

 BRIDGESTONE

 PETRONAS

 hit-air  
HIGH PERFORMANCE AIR

 mooncraft

 rizoma

 WAKOS



マシンを的確に操作するためのシート/アクセル・ブレーキペダル調整を入校式終了後に実施  
(Kart Classベーシックコース/アドバンスコース)



今後のコミュニケーションを円滑に進めるため、また、積極性を養うためのミーティングでは、入校生一人ひとりによる自己紹介なども実施  
(Moto Classベーシックコース)





チームで使う新しいコミュニケーションツールを導入し、各スクールに関する連絡・報告等を多方向でやり取りできるようにした  
(Moto Classベーシックコース、Kart Classアドバンスコース、Formula Classアドバンスコース)



Physical Coach鎌田貴氏の指導のもと実施した内田クレベリン検査。ここで得られた個々の性格や適性のデータを今後のカリキュラムに活用する  
(Moto Classベーシックコース、Kart Classアドバンスコース、Formula Classアドバンスコース)

